

## 平野ロジスティクス 関空で保税業務、輸入貨物から

稼働中の“Medica号”に続く医薬品空調車2台も新導入

空港間OLT輸送（保税転送）も、関西国際空港（KIX）の輸出入物流を支える重要なサービスだ。今回紹介する平野ロジスティクスはことし創業57年を迎えるOLTのリーディングカンパニーだが、OLTにとどまらず、空港発着の各種関連サービスを提供するなど、いまや関空の航空貨物輸送に欠かせない存在となっている。

### 倉庫増床で作業工程の動線が格段アップ

平野ロジスティクスの関西支店は、りんくう国際物流センター（大阪府泉佐野市りんくう往来北）内にオフィスを構え、航空会社やフォワーダーの空港間OLT輸送をはじめ、空港と近郊の物流拠点・生産拠点間での集荷・配送事業などを展開している。空港発着貨物の集配は、関西地区だけでなく、九州を含む西日本全体をカバーする。

「関西支店では2015年から関空国際貨物地区の第2国際貨物代理店ビル内に倉庫を開設し、関空発着の通関前・通関後の貨物の一時留め置きなどのサービスを提供しています」と、田中基康・西日本担当営業部長兼支店長。

そしてことし5月、倉庫面積を従来の250㎡から2倍の500㎡に拡大するとともに、倉庫内に関空事務所を開設し、同事務所に国内貨物転送のオペレーション業務を集約した。増床により、「倉庫内における作業工程の動線が格段に良くなった」（田中支店長）とアピールする。

さらに7月には、保税蔵置許可を取得し、輸入貨物の取り扱い業務を開始した。同倉庫では保税機能を生かして、フォ



平野ロジスティクス・関空倉庫

所在地：大阪府泉南市泉州空港南一番地 第2国際貨物代理店ビル130  
TEL：072-456-8470 FAX：072-456-8475  
保税コード：4MMWA6  
面積：500㎡（約150坪）、保税蔵置場面積は746㎡、うち屋外が268㎡  
機材：フォークリフト6台（3.5トン×1台、2.5トン×5台）

ワーダーなどの顧客が、航空機から取り降ろしたパレットをそのまま搬入でき、状態のチェック、貨物ブレイクや配送などの、通関以外の作業も委託できる。

また、休日中に同倉庫に搬入された輸入貨物については、休み明けに顧客が通関を実施し、搬出から配送までの一連の作業において、リードタイムが短縮できるという利点がある。同倉庫を利用することで、顧客は作業の効率化のほか、時間の有効活用にもつなげられる。

土日も休まず営業しているため、休日中に輸入貨物を取り取って状態を確認できることもメリットといえよう。

「今後は輸入貨物に加えて、準備が整い次第、輸出貨物の取り扱いも開始したい」（田中支店長）と、考えている。

### ドライバー教育の取り組みにも注力

関西には医薬品関連企業の本社や研究開発・生産拠点が集積している。これらの輸送を担う関空では、日本の他空港に先駆けて医薬品分野に注力しているが、平野ロジスティクス関西支店でも、医薬品専用の大型空調車（10トン車）や4トン車を活用して、関連物流に対応しているところ。

大型空調車は、関西エアポートグループのCKTSが運用する関空の医薬品専用庫「KIX Medica」のロゴをまとい、「Medica号」と命名され、関空を拠点に主に医薬品を全国に輸送している。Medica号は庫内温度-25℃から25℃まで対応可能で、温度逸脱警報システムなど、ニーズに合った装備を搭載済みだ。

医薬品物流の品質を確保するには、陸上輸送部分も無視するわけにはいかないため、トラックにも厳密な温度管理が求められる。そこで平野ロジスティクスでは、医薬品輸送を品質面で支えるため、医薬品輸送関係者の指導のもと、温度校正、マッピング等、独自のGDP（医薬品適正流通基準）をつくり、医薬品輸送の専用車両を開発した、という経緯がある。

### 新型10トン医薬品空調車

貨物室サイズ＝全長945cm×全幅233cm×全高250cm  
後部積卸サイズ＝長さ230cm×高さ235cm  
積込積卸容量＝11.4トン  
積込＝低温スタンバイ、エアシリンダー仕様  
空調温度帯＝-25～+25℃



Medica号(10トン)



その関西支店ではことし6月、新たに医薬品空調車を2台導入した。新車両はMedica号のバージョンアップ版で、製薬会社からの「トラックドック付け時の作業が遅くなると、温度逸脱の可能性が高まるので、なるべく早く作業を終わらせたい」との要望に応え、庫内床面に新型のエアシリンダーを採用した点が特徴だ。これにより、「ドック付け時の貨物の積み降ろし作業がスムーズになり、温度逸脱のリスク軽減が図れる」（田中支店長）というわけ。

加えて庫内各所の温度差をなくするため、後部にサーキュレーター、庫内温度計を3カ所に設置するなど、より厳密な

温度管理が可能な新専用車両を作り上げた。

また平野ロジスティクスでは、こうした温度管理車両の開発など、ハード面の取り組みを推進する一方で、配車スタッフや空調車ドライバーらに、GDPガイドラインに基づいた教育訓練や、医薬品輸送時の注意点についての教育を行うなど、ソフト面での品質にも磨きをかけている。

長年の実績やノウハウを生かしながら、常に輸送品質を意識した取り組みを進めている平野ロジスティクス。ことし開港25周年を迎える関空だが、同社のような縁の下の力持ち企業が同空港発着の国際物流を支えている。

## 関西エリアの航空貨物を力強くサポート!



2019年7月  
関西空港内に保税蔵置場を整備

- GDPガイドラインに基づいた輸送を提供
- 医薬品輸送に特化した専用車両  
“KIX Medica号”を運行
- スピーディーなOLT輸送を提供

株式会社 平野ロジスティクス  
Hirano Logistics Corporation



豊富な陸上ネットワークで  
円滑な輸送をご提供します。

本社 078-994-0069 関西支店 0476-35-3600 東京営業所 03-6382-7768  
成田空港出張所 0476-32-2981 東海支店 0538-42-9480 中部支店 0569-38-7208  
関西支店 072-463-7455 関西空港営業所 072-456-8470 神戸営業所 078-965-0918  
福岡営業所 092-586-8915 [www.hirano-logistics.com](http://www.hirano-logistics.com)